

夢実現のために 福井ふるさと大使 21世紀塾 土田ヒロミさん来町



2月19日、写真家の土田ヒロミさん（大門区出身）が今庄小学校を訪れ、5、6年生50名を対象に「立身について」と題し特別授業を行いました。

これは、子どもたちに将来への希望やふるさとに対する誇りを持ってもらおうと“福井ふるさと21世紀塾”の一環で開かれたものです。

土田さんは、会社員から写真家に転身した体験や数々の作品を紹介しながら「夢を実現させるためには、自分で個性を作りあげていくことが大切」と話し、児童らは真剣な表情で聞き入っていました。

異国の文化で親睦深め 国際交流フェスティバル

3月8日、国際交流フェスティバルが河野総合事務所で開かれ、町内在住の中国、フィリピン、ペルー、ブラジル人や町民約40人が参加しました。参加者らは北前船主の館右近家や西洋館を見学した後、昼食会で新鮮なブリの刺身やアラ汁など海の幸を堪能。レクリエーションでは日本のジャンケンゲームが紹介されました。また、フィリピンのマンボードダンスが披露され、参加者らはリズムカルに踊り、身近なところからの国際交流でお互いの文化の理解と親睦を深めました。



みんなで創る活力のあるまち

南越前町まちづくり大会

第4回南越前町まちづくり大会が、3月15日、南条文化会館で開かれました。この大会は、町の住み良さを実感できる豊かなふるさとづくりを学び、より一層まちづくり活動を発展させていこうと開かれ、約320人が参加しました。川野町長が「地域資源、伝統文化を活かした創意と工夫によるまちづくり活動が推進されることを期待します」とあいさつ。

まちづくり実践発表では、今庄壮年会、わきあいあい、甲楽城青年団の3団体が地域に密着した活動を発表し、参加者の関心を集めていました。また、「自分らしく生きる」を演題に、関西を中心に活躍するニューハーフ梶浦梶子さんによる講演会も開かれました。



一緒に体操、家族のふれあい

ひろみちお兄さんの親子体操教室

3月8日、南条文化会館でひろみちお兄さんの親子体操教室が開かれ、約220人が参加しました。教室では、大人が人間ブランコとなり子どもを左右に振り動かしたり、忍者ごっこをしたりと、遊び道具がなくても家族で楽しめる手軽な体操が紹介されました。また、ひろみちお兄さんの子どもをひきつける楽しいトークも満載で、子どもも大人も大喜び。会場は、笑い声でいっぱいになりました。

